熊本高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	技術英語
科目基礎情報					
科目番号	AE1201	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子情報システム工学専攻	対象学年	専2		
開設期	通年	週時間数	1		
教科書/教材	指導教員によるプリント等使用				
担当教員	柴里 弘毅, 教務係 (または非常勤講師)				
到達目標					
1. 技術英語論文の読解, 2. 技術英作文, 3. 技術英会話, 4. 英語プレゼンテーションの各項目関連する演習を実施し, 技術者としての基礎的英語のコミュニケーション能力を身に付け簡単な「読む・書く・聞く・話す」ができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
技術英語論文の読解	英語の技術文献を適切に読解できる。	英語の技術文献を概ね読解できる。	英語の技術文献を読解できない。		
技術英作文	英語による優れた技術文書を作成できる。	英語による技術文書を概ね作成できる。	英語による技術文書を作成できない。		
技術英会話	技術専門分野について, 英語による議論を適切に行うことができる。	技術専門分野について, 英語による議論を行うことができる。	技術専門分野について, 英語による議論を行うことができない。		
英語プレゼンテーション	国際会議, 中間発表等において, 英語による優れた講演発表ができる。	国際会議, 中間発表等において, 英語による講演発表ができる。	国際会議, 中間発表等において, 英語による講演発表ができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	技術者として英語のコミュニケーション能力の向上を行なうため, 技術英語論文の読解, 技術英会話, 技術英作文, 英語プレゼンテーションなどについて技術指導に必要な内容を実施する。				
授業の進め方・方法	(1) 実施した内容の記録簿 (日付, 簡単な内容など) を各学生ごとに作成する。 (2) 実施した資料などをできるだけ一緒に保管する (特に多量の資料などは簡易な方法を考えて保管してもよい)。 (3) 本授業の終了時に, (1) の記録簿と (2) の保管資料はファイルに綴じて指導教員に提出する。				
注意点	【評価方法】上記の実施において, 下の項目で評価する。 ①積極的に参加し実行したか (40点) ②実施において, 論文読解や英作文等の実績は十分か (20点) ③英語の能力向上効果はあったか (20点) ④質問, 発表, 説明など相互意見交流に努めたか (10点) ⑤技術者意識向上があったか (10点) 【総合評価】総合的な評価は, 特別研究の中間発表または国際会議等で英語による口頭発表を1回以上実施し, かつ評価方法の①~⑤を合計し, 60%以上の得点率で目標達成とみなす。評価用紙等の詳細は専攻科ローカルホームページを参照。 本科目は2単位科目なので, 自学自習を含めて90時間の学習時間が必要です。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1. 技術英語論文読解の実施 (Reading Technical Articles in English)	辞書を使いながら海外文献を読解できる。	
		2週	1. 技術英語論文読解の実施 (Reading Technical Articles in English)	辞書を使いながら海外文献を読解できる。	
		3週	1. 技術英語論文読解の実施 (Reading Technical Articles in English)	辞書を使いながら海外文献を読解できる。	
		4週	1. 技術英語論文読解の実施 (Reading Technical Articles in English)	辞書を使いながら海外文献を読解できる。	
		5週	1. 技術英語論文読解の実施 (Reading Technical Articles in English)	辞書を使いながら海外文献を読解できる。	
		6週	1. 技術英語論文読解の実施 (Reading Technical Articles in English)	辞書を使いながら海外文献を読解できる。	
		7週	1. 技術英語論文読解の実施 (Reading Technical Articles in English)	辞書を使いながら海外文献を読解できる。	
		8週	1. 技術英語論文読解の実施 (Reading Technical Articles in English)	辞書を使いながら海外文献を読解できる。	
	2ndQ	9週	2. 技術英作文の実施 (Writing Technical Reports in English)	辞書を使いながら英語技術文を作成できる。	
		10週	2. 技術英作文の実施 (Writing Technical Reports in English)	辞書を使いながら英語技術文を作成できる。	
		11週	2. 技術英作文の実施 (Writing Technical Reports in English)	辞書を使いながら英語技術文を作成できる。	
		12週	2. 技術英作文の実施 (Writing Technical Reports in English)	辞書を使いながら英語技術文を作成できる。	
		13週	2. 技術英作文の実施 (Writing Technical Reports in English)	辞書を使いながら英語技術文を作成できる。	
		14週	2. 技術英作文の実施 (Writing Technical Reports in English)	辞書を使いながら英語技術文を作成できる。	
		15週	2. 技術英作文の実施 (Writing Technical Reports in English)	辞書を使いながら英語技術文を作成できる。	
		16週	2. 技術英作文の実施 (Writing Technical Reports in English)	辞書を使いながら英語技術文を作成できる。	

後期	3rdQ	1週	3. 技術英会話の実施 (Technical Discussion in English)	技術者としての簡単な英会話ができる。
		2週	3. 技術英会話の実施 (Technical Discussion in English)	技術者としての簡単な英会話ができる。
		3週	3. 技術英会話の実施 (Technical Discussion in English)	技術者としての簡単な英会話ができる。
		4週	3. 技術英会話の実施 (Technical Discussion in English)	技術者としての簡単な英会話ができる。
		5週	3. 技術英会話の実施 (Technical Discussion in English)	技術者としての簡単な英会話ができる。
		6週	3. 技術英会話の実施 (Technical Discussion in English)	技術者としての簡単な英会話ができる。
		7週	3. 技術英会話の実施 (Technical Discussion in English)	技術者としての簡単な英会話ができる。
		8週	3. 技術英会話の実施 (Technical Discussion in English)	技術者としての簡単な英会話ができる。
	4thQ	9週	4. 特別研究の中間発表や国際会議の講演発表などで英語プレゼンテーションの実施 (Presentation in English)	技術者としての簡単な英語プレゼンテーションができる。
		10週	4. 特別研究の中間発表や国際会議の講演発表などで英語プレゼンテーションの実施 (Presentation in English)	技術者としての簡単な英語プレゼンテーションができる。
		11週	4. 特別研究の中間発表や国際会議の講演発表などで英語プレゼンテーションの実施 (Presentation in English)	技術者としての簡単な英語プレゼンテーションができる。
		12週	4. 特別研究の中間発表や国際会議の講演発表などで英語プレゼンテーションの実施 (Presentation in English)	技術者としての簡単な英語プレゼンテーションができる。
		13週	4. 特別研究の中間発表や国際会議の講演発表などで英語プレゼンテーションの実施 (Presentation in English)	技術者としての簡単な英語プレゼンテーションができる。
		14週	4. 特別研究の中間発表や国際会議の講演発表などで英語プレゼンテーションの実施 (Presentation in English)	技術者としての簡単な英語プレゼンテーションができる。
		15週	4. 特別研究の中間発表や国際会議の講演発表などで英語プレゼンテーションの実施 (Presentation in English)	技術者としての簡単な英語プレゼンテーションができる。
		16週	4. 特別研究の中間発表や国際会議の講演発表などで英語プレゼンテーションの実施 (Presentation in English)	技術者としての簡単な英語プレゼンテーションができる。 なお、上記の1～4の各種項目においては、各指導教員の実施方針に基づいて、その全体を実施してもよく、あるいは一部を強化的に実施してもよい。実施方針は、教員の指導対象内容と学生に効果のある教育方法を選定して行なっていく。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	活動評価	資料作成	表現	コミュニケーション	対処方法	合計
総合評価割合	40	20	20	10	10	100
基礎的能力	20	10	10	5	5	50
専門的能力	10	10	10	5	5	40
分野横断的能力	10	0	0	0	0	10